



※ 本通信は、毎月プリントにて発行している通信を基に作られています。

※ 個人情報等に関する内容は、削除されています。

1 8年生：修学旅行

12月4日（水）から6日（金）、8年生は関西方面への修学旅行に行きました。

8年生の生徒たちは、今回の修学旅行に対し、次のようなスローガンをかかげ、事前学習から本番当日まで仲間と力を合わせて取組を進めてきました。

令和元年度穂波東校中学部 修学旅行スローガン

We can make memories. ~心に残る瞬間を~

修学旅行実行委員会からのメッセージ

**“私たちは思い出をつくることができる。”という意味でこのスローガンにしました。
このスローガンのように思い出に残る修学旅行にしましょう！**

8年生の生徒たちは、“楽しい修学旅行”を創るため、よく頑張りました。事前学習の中ではそれぞれが受け持つ係の仕事内容や3日間の行程、各見学場所での注意事項等をしっかりと学びました。そして、修学旅行の本番当日では、先生方から指導を受けることもありましたが「修学旅行のしおりを見ながら、次は何をするのかを自ら判断して、行動する。」「寝食を共にしながら、仲間と協力して集団行動する。」「皆で楽しい修学旅行を創るという意識を持って、ルールや時間、マナーを守る。」等をよく実行しました。私自身、3日間、8年生の生徒たちと行動を共にし、8年生の一人ひとりが「全員で楽しい修学旅行を創りたい。」という意識を持っていることを強く感じました。最終日、帰りの新幹線の中で生徒たちが書いた「修学旅行の感想」を読むと、ほとんど生徒たちが「修学旅行はとても楽しかった。」「もう一度、修学旅行に行きたい。」「このまま修学旅行を続けたい。」等と素直な思いを述べていました。これらの感想を読み、「今年の修学旅行は成功だった。」と実感しました。

修学旅行を成功させた8年生の今後の更なる成長を期待しています。



1日目 奈良公園
大仏見学後、鹿とふれあいました。



2日目 清水寺
1日、班別行動をしました。



3日目 神戸・南京街
"食べ歩きグルメ"を体験しました。

2 かけ算九九ボランティア

昨年度より始まった異学年交流「かけ算九九ボランティア」を本年度も実施しました。

これは小中一貫教育の一つとして実施されている取組で、中学部のボランティアの生徒たちが先生役となり、かけ算九九を覚えてたの小学部2年生の児童たちの九九の暗唱を聞き、「バッチリ、合格!」「おいしい!しく、さんじゅうろくだよ。」等と声をかけながら、九九の指導をする取組です。11月27日(水)から12月6日(金)の昼休みに実施しました。

かけ算九九ボランティアに参加した生徒の感想(2年生に向けたメッセージ)の一例

- まず2年生のみなさんに「ありがとう」を伝えたいです。みなさんの頑張っている姿、九九に真剣に取り組んでいる姿をみると元気が出ました。小さい子との接し方がわからなくて、最初は戸惑いましたが、でも回を重ねるごとに接し方をつかんで楽しくなっていました。最終日はみんなと別れるのがつらかったです。
- 今回初めて九九ボランティアに参加して最初は上手くコミュニケーションをとれるか不安だったけれど、2年生のみんなが積極的に集まってきてくれてとても嬉しかったです。そして、この九九ボランティアを通して小学生との接し方や話し方で大切なことを知ることができました。
- 今回とても貴重な体験ができて良かったです。2年生が九九を一生懸命する姿がとてもカッコ良かったです。また、私も頑張らないといけないと感じました。
- 2年生に自分の妹がいるので、他の2年生に教えた後に妹に教えてあげると優しくでき、妹が九九を覚えることができました。この九九ボランティアに参加して良かったと思いました。
- 受験勉強の中、小さい子と接することでとてもいやされ、リフレッシュされました。2年生の元気さと力強さに励まされました。とても可愛かったです。

2年生児童の感想(中学生に向けたメッセージ)の一例

- 九九ボランティアさんたち、お昼休みに九九を聞きに来てくれてありがとうございました。言えなかった「だん」も言えるようになりました。たくさんうまくなってうれしいです。まちがえた時、やさしく教えてくれてありがとうございました。
- ほくがかけ算九九を言っている時に、しっかりと聞いてくれてありがとうございました。わからない時も教えてくれてありがとうございました。オッケイをもらった時、すごくうれしかったです。これからも九九をおぼえていきます。

- かけ算を九九をきいてくれてありがとうございました。中学生のみなさんのおかげで、ぼくはかけ算九九がとくいになりました。これからもかけ算をがんばります。
- 昼休みにかけ算九九を教えてくださいありがとうございました。算数の時間には8のだと9のだんが言えなかったけど、お兄さん、お姉さんがやさしく教えてくれたので言えるようになりました。

今回、この取組が新聞に掲載されましたのでご紹介します。

今後も、このような異学年交流を通して、生徒には自尊感情や自己有用感の向上を、児童には生徒を目標とするモデル形成を図っていきたいと思います。

中学生、小2に九九指導

飯塚市の小中一貫校穂波東校

飯塚市の小中一貫校穂波東校は、中学生が小学2年に掛け算の九九を教える「九九ボランティア」に取り組んでいる。小学部と中学部が同じ敷地内にある特徴を生かそうと、同校が開校した昨年度からスタート。本年度は11月末から12月上旬までの6日間に、延べ42人の中学生が指導に当たった。教師らは「年齢の近いお兄さん、お姉さん相手にリラックスして勉強に臨め、九九を覚えるモチベーションの維持につながっている」としている。

「9の段の『はらばら』ぞくと、中学生約10人が座をお願いします」「2回目いる机の前に、児童が列を作ります」。今月3日、昼ついでいた。子どもたちの手休みに小学2年の教室をのには1・9の段ごとに、①

延べ42人ボランティア

児童やる気アップ



中学生のところに並び、九九を暗唱する小学2年の児童

上から②下から③はらばら
の三つの条件で九九が言えるかをチェックする「九九がんびりひよっ」。挑戦する条件を児童が申告し、中学生が耳を傾ける。合格すると「いいね！」と声をかけた後、ハイタッチをしながら、中学生がチェックしたりして、中学生がチェック表に猫などのマークをつけた。

教員が掛け算での活用を案じた。18年度に小学2年を担当した教員歴40年のベテラン教師によると、これまで児童全員が全ての九九を言えるようになるのは、3年生になる直前までかかっていた。ただ、昨年度、中学生がボランティアで九九の指導に当たったところ、2学期までには全員のマスタリが確認できたという。待ち時間が少ない上、年齢が近いので緊張せずテストを受けられる。中学生は柔らかい表情で接し、チェック表にキャラクターを描くなど、子ども目線での関係を築けている」と手応えを語る。

小学部の園田美穂校長によると、掛け算九九は2年生のうちは一気に覚えにくいと、その後の計算学習が負担になる重要項目。多くの学校で、教師が児童一人一人に暗唱させ定着度を確認するが、教師だけでは一度に大勢に対応できず、待ち時間の長い児童のやる気が低下するという問題がある。

小学2年の藤川泰太郎君は「中学生は優しく、いつも始まるのが楽しみ」に笑顔。中学3年の田中佑さんは、今年初めてボランティアに加わり「子どもたちは笑顔で答えてくれる。できないところができるようになるとうれしく」と話す。

同校は2018年4月に平恒小と栗市小、穂波東中が統合して開校。まず、児童が中学生と一緒に図工の作業をする取り組みが始まり、同じような児童・生徒の交流をほかの学習にも広げられないかと、小学部の

学校教育の研究者らでつくる日本義務教育学会(東京の担担者は中学生が、小生にとっての憧れや、目標像になっているのではないか」としている。

(田中早紀)

3 1月の主な行事（中学部）

日	曜	行 事
8	水	<input type="checkbox"/> 始業式 <input type="checkbox"/> 9年親子活動
9	木	<input type="checkbox"/> 7・8年生課題テスト、9年生実力テスト <input type="checkbox"/> 給食開始
17	金	<input type="checkbox"/> スクールカウンセラー来校(24日,31日にも来校します)
18	土	<input type="checkbox"/> 嘉飯大会（新人）駅伝
21	火	<input type="checkbox"/> 私立高校の推薦・専願入試 ⇒ 発表：1月23日（木）
26	日	<input type="checkbox"/> 飯塚市PTA連合会 家庭教育講演会 講師；坂本博之（田川市出身の元プロボクサー、元東洋太平洋ライト級チャンピオン） 会場：イイツカコスモスコモン中ホール 受付開始：9時30分 講演開始：10時20分 （いじめや虐待、不登校等について自らの体験をもとにご講演いただきます。）
28	火	<input type="checkbox"/> 大和青藍高校一般入試 ⇒ 発表：2月3日（月）
29	水	<input type="checkbox"/> 近大付属福岡高校一般入試 ⇒ 発表：2月3日（月） <input type="checkbox"/> 9年生のみ ⇒ 給食なし、12：00下校
30	木	<input type="checkbox"/> 飯塚高校一般入試 ⇒ 発表：2月3日（月）